

朝刊で詳報します

この紙面は「webunプラス」でも
ご覧いただけます <https://webun.jp>

北日本新聞

号外

2025 10/10 金曜日
令和7年
発行所 北日本新聞社 〒930-0094
富山市安住町2-14
☎076(445)3300 (受付案内)
© 北日本新聞社2025

公明 連立離脱へ

自民と献金・裏金で溝

高市新体制に打撃

公明党は10日、自民党との連立政権の枠組みから離脱すると決めた。高市早苗総裁選出を受けた連立協議を巡り、企業・団体献金の規制強化や派閥裏金事件の真相解明を求めたが、溝は埋まらず、自民の不信払拭に向けた努力が不十分と判断した。政策ごとに協力の

是非を決定する。公明は1999年10月に自民、自由両党連立政権に参加。四半世紀の連立の歴史に幕を下ろす。

公明が直ちに連立を離脱すれば自民単独内閣に転落する。高市新体制にとって打撃だ。政治状況がさらに不安定化するのは避けられない。石破茂首相の後継を選ぶ臨時国会の召集も20日以降に遅れる公算が大きく、政治空白が長期化する。

斉藤鉄夫代表が10日、自民の高市総裁と会談し、方針を伝えた。

斉藤氏は7日、高市氏と会談し、靖国神社参拝を含む歴史認識や外国人政策への懸念を伝え、認識を共有した。裏金事件の真相解明と企業・団体献金の受け皿制限では結論に至らず、連立合意を持ち越した。

斉藤氏は8日配信のインターネット番組で、連立合意できなければ、首相指名選挙で高市氏に投票しない考えを表明。9日の党中央幹事会では、離脱慎重論が上がる一方、『政治とカネ』問題が解消されない限り、離脱はやむを得ない」と厳しい意見が出ていた。

党首会談を終えた公明党の斉藤代表（左）と自民党の高市総裁。斉藤代表は会談で連立政権の枠組みから離脱すると伝えた＝10日午後、国会



購読申し込みは [フリーダイヤル 0120\(88\)3746](https://webun.jp) [ハチハチ みなよむ](https://webun.jp)

webun プラス <https://webun.jp>